

令和元年度 当初予算

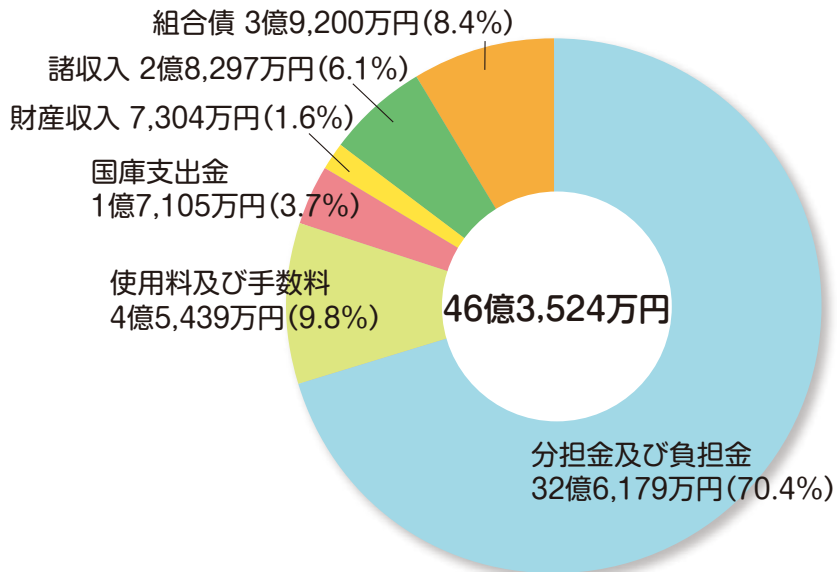
予算総額

46億3,524万円（前年度比較4,136万円増）

市町分担金

32億6,179万円（前年度比較1億4,284万円減）

歳入



分担金及び負担金は、し尿等の搬入量の減少等に伴うし尿処理経費の減少、退職手当の減少やクリーンパーク折居の稼働開始に伴う人件費の減少等により、1億4,284万円の減となりました。

歳出

解体跡地整備費
6億1,912万円

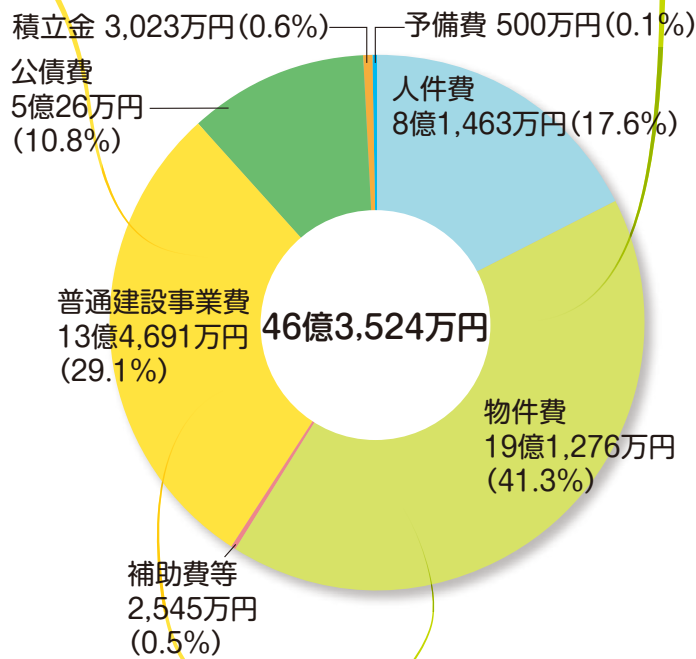


▲解体中の旧折居清掃工場

旧折居清掃工場の解体及び跡地整備工事を実施し、今後の本庁管理棟建替移転に向けた準備を進めます。

定期的点検保守整備工事費
（クリーン21長谷山）
5億8,185万円

稼働後12年が経過し老朽化が進行しているクリーン21長谷山の改修整備工事を実施します。



クリーンパーク折居運営業務委託料
3億3,514万円



▲特別目的会社による工場運営

D B O（公設民営方式）で実施していますクリーンパーク折居の運営にかかる費用です。



▲手選別後に梱包されたボール

プラスチック製容器包装
資源化処理に要する経費
1億1,194万円

令和元年度は、旧折居清掃工場の解体及び跡地整備工事を完了させるとともに、廃棄物処理施設の計画的整備及び適正な維持管理に努め、安定した廃棄物処理を継続することとしています。

令和元年度の主な取組

- ①折居清掃工場更新事業については、解体撤去及び跡地整備事業を完了させるとともに、今後の本庁管理棟建替移転に向けた準備を進めます。
- ②ごみ中継施設更新事業の基本計画策定など、将来の施設運営に万全を期した中・長期的整備計画を推進します。
- ③広域行政のスケールメリットを発揮しながら、安心安全な工場運営に万全を期し、適正な廃棄物処理事業を継続することを基本に、市町と協同して、更なるごみの減量・再資源化事業を推進します。
- ④適切な維持管理や施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減、平準化など将来負担に考慮した施設整備に努めます。
- ⑤O J T活動の仕組みを確立し、技術・知識の継承や人材育成計画の推進により、組織力の強化に努めます。
- ⑥し尿処理事業については、下水道排水による適正かつ効率的な処理を継続するとともに、効率的なし尿収集体制を確立します。
- ⑦環境マネジメントシステムによる継続的改善を一層進めるとともに、地球温暖化防止対策実行計画（第4期）「地球元気プランⅣ」の策定など地球環境保全に向けた取組や廃棄物処理事業の情報発信強化に努めます。